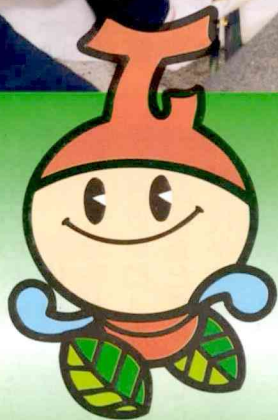


No 556 3月号

平成12年3月9日発行



農業集落排水事業麓地区 処理施設着工安全祈願祭

(平成12年12月完成に向けて)

ぼく“でんしろ”です

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1

毎日の地道な努力が「良い品」を作る原動力

第29回畜産振興大会



鹿屋体育大学「東 博文」先生

毎日の飼育が大変で取りやめた人々も多く残念に思っているところでもあります。見通しとしては、安価な輸入肉への評価が芳しくないおかげで、現在のところ価格は安定しているようです。

葉たばこ生産の功労者として表彰

近川 正人・良子夫妻



優れた耕作技術、指導力で産地の維持・発展を推進し、葉たばこの品質、生産性向上など優秀な耕作者に對して、JT社長が感謝状を贈呈する「平成11年度葉たばこ生産功労者感謝状贈呈式」が1月24日東京都新宿区の「ホテル・センチュリアット」であり、本町より近川正人・良子夫妻が

す。やはり消費者は、賢いのです。最初とはびつつかもしれませんが、長い目で見ると、飽き？がきて「良い品」を求める傾向にあるようです。言い方を変えると農家の皆さんが「良い品」を作り続ける事が消費者への信頼につながるのです。いろいろな事に負けずに頑張ってください。

表彰されました。当日は、全国二万五〇〇〇の耕作農家から選ばれた25夫妻に對し水野勝日本たばこ産業株式会社社長より、感謝状が贈呈され本県より2夫妻が表彰を受けました。

近川夫妻は、葉たばこ耕作歴39年、平成12年作も185haの耕作契約をされており、新たな気持ちで葉たばこ耕作に取り組んでおられます。

又、正人氏は、県経営者クラブ根占地区経営者クラブ会長も務められ、たばこ作以外にも肉用牛と露地野菜の複合経営で、地域のリーダーとして、今後益々の活躍を期待します。

当日は、鹿屋体育大学医学博士の東博文先生が「健康」をテーマにした講演をなさり、日頃の農業経営（その他の分野も含め）は、健康が第一であると認識されていたようです。

和牛登録審査 本町最高タイ記録 88.0点 中野光次氏

「しずこ」号



平成11年度第四期和牛登録審査が2月4日、鶴園農畜産施設で実施されました。

今回の審査には、平成11年度県畜産共進会に出場した中野光次氏所有の「しずこ」をはじめ、18頭が受審しました。

審査には全国和牛登録協会県支部及び郡畜連の職員があたり、中でも「しずこ」

は88.0点の最高得点を獲得しました。全体的に、発育・体積に優れた牛が多く、18頭の平均得点が83.4点と粒ぞろいの登録審査となりました。今後の田代牛の改良と子牛生産が期待されます。

せつがい (季節変わり)



二月三日の本町は、町内のあちこちで、鬼火たき（せつがい）が実施されます。この行事は、毎年の節分行事として古くから引き継がれ、子供からお年寄りまで総出で一年間の無病息災を祈ります。

このごろは、親子いっしょになって準備から行うようになっていますが、ほんの20年前位までは、子供会単位で実施し、同時に火を入れて櫓がたおれる時間を競ったり、勝手に他の櫓に火を付けたりのいたずらも

あった様で、子供達の腕白ぶり、闊達さが、懐かしいようでもあり今の子供達にその事を望むような時代でもなく少し物足りなさを感じるような気もしますが、本町の伝統行事として今後も引き継がれていくでしょう。

半島隅ぐいの気市

薩摩・大隅両半島の先端部地域8町が、共同で半島の豊かな自然や特色ある文化、特産品などを紹介し、「半島の元氣」をPRします。

各町の特産品の展示即売や無料試食、お楽しみ抽選会など、家族で楽しめる催しがいっぱいです。

日時 3月19日(日)～20日(月)
午前10時～午後5時
(20日は午後3時まで)

場所

いづろドーム(鹿児島市)
内容 特産品販売、お楽しみ抽選会、クイズラリーなど

問い合わせ先

半島隅ぐい元氣市実行委員会事務局(根占町企画課内)
電話09942(4)3111

“優良茶の里”生産額7億円達成



平成12年度の茶生産額が永年の念願であった7億円に達成し、2月10日に「茶生産額7億円達成記念大会」が盛大に開催されました。

一、茶業の歩み

本町の茶業は、大正時代初期より畦畔茶園が奨励され、昭和3年、大原地区20haに新植されました。「田代村産業振興5ヶ年計画(昭和25年)」で特産品にするための整備が推進され、昭和35年、「不安定な農業経営からの脱却」を合言葉

積極的な優良品種の導入、近代化施策等により平成2年度から、乗用型の茶園管理機械も導入され、高齢化や農作業労働力減少等へ対応しています。

組織的な利用とともに利用面積も予想以上の早さで増えてきており、今後益々期待されています。

二、7億円までの道のり
昭和49年から本格的な荒茶共販体制がスタートし、昭和55年度に3億円、平成4年度に5億円に達成。その後茶園・茶工場の整備など生産基盤の拡充により、本年度生産額7億円の達成となりました。

大会当日は、本町の茶業振興に尽力された「前町長、松田進」氏を表彰し、感謝状の贈呈を行い永年の労をねぎらわれました。

シリーズ ② たしろで生きる

たしろ山茶香の一員として法人経営に参加して、3年。規模拡大も順調にすすみ、幼木園の草取りも趣味の感覚で楽しい!!

そんな父の背中を見て、長男修一君も本格的に経営に参加されました。

今、元気いっぱいの山田一家におじゃましました。栄一さんもセイ子さんも若い者には負けない元気で、修一さんもうかうかしてられないと昨年の暮れ、パソコンを買い込んできてアッと言う間にマスターしてしまいました。しかし経営内容になるとお父さんの方が何倍も上、簿記帳は2人して教え合いながらクリア!!

修一さんにとっては、家族だけではなく、たしろ山茶香のメンバーも経営や技術習得の良き先生。地域にとっても宝物の後継者はすくすく元気に育っています。

皆様!! これからもよろしくお願い申し上げます!!



家族構成

世帯主	山田 栄一	(59歳)
妻	セイ子	(58歳)
長男	修一	(26歳)

●経営 茶生産

1 介護を必要とする本人 または家族が申請します

- 役場の担当窓口で受け付けます。
- 指定機関（指定居宅介護支援事業者または介護保険施設）に申請を代行してもらうこともできます。
（町内では、田代町在宅介護支援センターと田代町社会福祉協議会で代行申請ができます。）
- 申請をすればサービスを使い始めることもできます。

指定居宅介護支援事業者とは

認定に必要な訪問調査や介護サービス計画の作成などを行う介護支援専門員（ケアマネジャー）を配置し、サービスをうけようとする人が適切なサービスを利用できるよう、相談にのったり、サービス提供機関との連絡調整を行います。

2 日常生活動作などについて 訪問調査をします

- 申請後、役場の職員または介護支援専門員が訪問し、全国一律の基準を用いて心身の状況や日常生活動作など、認定に必要な調査をします。
- かかりつけ医から病気などの状況について医学的な意見を求めます。（意見書の入手に関する費用は田代町が負担します。）

3 [介護が必要かどうか]、 [どの程度必要か] を判定します

- 調査の結果とかかりつけ医の意見をふまえたうえで、介護認定審査会で要支援状態・要介護状態かどうか、またどれくらいの介護が必要か（要介護度）を審査します。
- かかりつけ医がいない場合は、役場の指定する医師の診断を受け、医学的な意見を求めることになります。

介護認定審査会とは

全国一律の基準で認定のための審査判定を行います。第2号被保険者については介護を必要としている状態が特定疾病によるものか審査します。介護認定審査会は保健・医療・福祉の学識経験者で構成されます。

4 認定は鹿屋市の肝属地区介護保険 組合で行います

- 認定は申請した日から原則として30日以内に行われます。
- 認定の効果は申請日までさかのぼります。
- 認定は6か月ごとに見直されます。

申請受付はすでにはじまっています。

しんせい
申請

ほうもんちょうさ
訪問調査

しんさ はんてい
審査・判定

にんてい
認定

介護が必要と感じて
介護保険のサービスを受けようとするときは
役場に申請をし認定を受ける必要があります。



非該当

介護保険のサービスはうけられませんが、田代町独自の保健福祉サービスなどを利用できる場合があります。

決定した内容に不服があるときは

鹿児島県に設置される介護保険審査会に審査請求を行うことができます。

介護保険制度のサービスを受けるには

サービスをうける
ときの負担は

かかった費用の1割です

サービスをうけるときは、介護サービスにかかった費用の1割を負担します（施設入所者の食事代は別に負担）。介護サービス費は、要支援を含め6段階の介護度で支給限度額が設定されています。また、利用料が一定額を超えた場合は、高額介護サービス費が支給され、負担が軽くなります。



平成12年4月1日から
介護保険サービスがは
じまります。

サービス
の開始

6 必要な在宅サービスや 施設サービスが受けられます

- 鹿児島県知事の指定を受けた居宅サービス事業者などから、必要な在宅サービスが受けられます。
- 自宅で生活できないときは、特別養護老人ホームや長期間の療養に適した病院などで施設サービスが受けられます。

5 本人の希望を尊重した 介護サービス計画をつくります

- 認定を受けると、介護支援専門員が本人や家族の意見をふまえたうえで、一人ひとりの状況に応じたサービス計画をつくり、サービス提供事業者と調整を行います。（自分でつくることもできます。）
- 認定されたサービス内容は定期的に見直されます。
- サービス計画の作成には利用者負担はありません。

けいかく
サービス計画
の作成

要支援状態・要介護状態とは

要支援状態とは、日常生活をおくるための支援が必要な状態です。要介護状態とは、ねたきりや痴呆などで常に介護を必要とする状態で、介護の必要度に応じて5つの段階に区分されます。

要支援	要介護状態とは認められないが社会的支援を要する状態
要介護 1	排せつ、入浴、清潔・整容、衣服の着脱等に一部介助等が必要になる状態
要介護 2	排せつ、入浴、清潔・整容等に一部介助または全介助が必要になる状態
要介護 3	排せつ、入浴についての全介助のほか、清潔、整容、衣服の着脱に全介助が必要になる状態
要介護 4	排せつ、入浴、清潔・整容、衣服の着脱等の全般について全面的な介助が必要になる状態
要介護 5	生活全般にわたって、全面的な介助が必要になる状態

厚生省介護保険制度実施推進本部資料より作成。今後変わることがあります。

田代町町営住宅入居者募集

元氣おこし住宅
平成十一年度、半島特定地域元氣おこし事業により、定住促進を図るための町営住宅を建設しました。左記の内容で入居者を募集します。

対象住宅

- ① 上原団地1号 (新築)
- ② 上原団地2号 (新築)
- 上原集落内(営林署住宅跡)
- 川原八三七一
- 木造二階建車庫付き一二五㎡
- ③ 荒田原団地11号(築一年)
- 麓四五六六
- 木造二階建車庫付き

家賃

- ① ② 月額三三、〇〇〇円
- ③ 月額三一、五〇〇円



敷金 月額家賃の三ヶ月分

入居者の資格
本町営住宅への入居者の資格は、次の各号のいずれかの条件に該当し、田代町町営住宅管理条例第六條に該当する者でなければならぬ。ただし、町長が特別の事情があると認めるときはこの限りではない。

- 一、農業後継者である者
- 二、Uターン(町出身者で帰郷する者)を希望する者
- 三、Iターン(町外出身者で転入する者)を希望する者

入居者の選考

田代町町営住宅管理条例第八條による

入居予定年月日

平成十二年四月一日

入居申込期間

平成十二年三月九日から
平成十二年三月二十四日まで

入居申込書

申込書は、役場企画課に準備してあります。
その他の詳細については、企画課の担当にお問い合わせ下さい。

技術講習会受講生募集

1. 応募資格
再就職等を希望する女性で、講習の全日程を受講できる人

2. 受講料

無 料
ただしテキスト代は自己負担

3. 講習科目・期間・申込期間

パソコン
平成12年5月8日(月)～
6月5日(月)(21日間)
申込期間
平成12年4月19日(水)～
4月21日(金)

4. 講習時間

午前9時30分～
午後3時30分

5. 講習場所

鹿屋パソコンスクール
鹿屋市西原四丁目9-11
電話〇九九四四〇四一五八

6. 申込方法

本人が直接、鹿屋パソコンスクールに來所のうえお申込みください。

※募集定員 20名

(定員を越えた場合は選考の上抽選)

学校だより

田代幼稚園 川原保育園

秋から冬にかけては、実りのある季節のごとく、子どもたちも大きな成長を見せてくれました。一つひとつの活動や体験の中で年齢に応じた、又地域との交流、祖父母とのふれあひ、親子、兄弟姉妹との関わりがそれぞれの心に、身体に深く感じる事のできる事ばかりでした。家庭の中では見ることのできない表情が、また家族にとっても感動のひとつとまであり輪へとつながるものです。

☆郷土文化伝承

昔懐かしい物を知り、語り継ぐという意味で栗・団子・チマキ等をいただきました。



アツちゃん(松崎アツ子さん)団子を誕生会で皆で食べました。

☆大運動会

秋晴れの一日を、走ったり跳んだりみんなで心地良い汗をかいた楽しい日を過ごしました。



お土産持って少し緊張気味

☆美形?応援団(南松園)



今年も見事に化けた!

☆祖父母合同誕生会

誕生会終了後に大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと楽しい会食をしました。



これから会食です。"楽しみにしていたよ"

☆おゆうぎ会



本番前にドキドキ! ぽんぽんバカボン!

☆もちつき大会



キネをしっかりと握ってペタン ペタンコ

☆南松園慰問



ぼく達のおゆうぎのプレゼントです

暮らしのワンポイント



誤飲事故が多い子どもの年齢は、好奇心が強い一〜三歳くらい。口に入る物ならなんでも入れてしまうので、保護者は常に目配りが必要で、大人が集まってお酒を飲む場合、子どもの誤飲事故が起こりがちです。

子供の誤飲

お酒・たばこの場合



たばこは、毒性成分のニコチンに吐き気を催す作用があるので、誤食しても吐き出すことが多いようです。しかし、たばこ一本には乳児の致死量を超えるニコチンが含まれているので、危険に変わりはありません。特に、飲み物の空き缶に水を入れて灰皿代わりになっていると、子どもがジュースと勘違いして飲んでしまうことがあります。水分でニコチンの吸収が早まるので、たばこのものの誤食より危険です。たばこや灰皿は、絶対に子どもの目につく所に置かないことが大切です。

誤飲した場合は、何も飲ませないで、すぐに病院へ。このとき素人が無理に吐かせようとするのは避けてください。喉を詰まらせて、かえって危険な状態になる場合があります。

力走、田代町青年団!

1月30日(日)、第32回肝属地区青年団駅伝大会が開催されました。田代町から吾平町までの11区間24キロメートルを肝属地区の青年団9チームで競いました。田代町からも健脚自慢の若者11名が出場し、5位入賞を果たしました。



肝属青年団が勢揃い



花の1区、元気にスタート

田代出身者大活躍

鶴園 満選手



力走!! 鶴園選手(財部町力走中)

早春の鹿児島を駆け抜ける第47回県下一周駅伝大会が2月19日〜23日の5日間にわたって開催されました。田代町からも鶴園集落出身の鶴園満選手が肝属チームの中心選手として出場されました。今回初出場の鶴園選手は高校生区間を2回出走し、2日目の第9区では見事な快走をみせ、区間賞に輝くなど、肝属チーム日間優勝、総合第4位の原動力となりました。鶴園選手の今後ますますのご活躍をお祈りします。



大原小
猿渡努教頭先生による研修報告

町教育研究会開催

2月15日、町内小・中学校の先生方が全員参加して町教育研究会が開催されました。

まず、各教科等の部会で一年間の活動反省と次年度の課題について話し合われました。

その後の全体会では、大原小学校教頭の猿渡努先生より国内研修報告が行われました。最後に、肝属教育事務所中山指導課長により基礎学力の定着を重視する教育や「読書の町」田代町をめざして」と題する講演がありました。

今年度の成果をもとにして来年度はさらに充実した田代町の教育が推進されることでしょう。



講演に聞き入る婦人会の皆さん



ユーモアたっぷりの豊留先生

田代町婦人会は、毎月集落婦人会長さん方を対象に定例研修会を行っています。2月定例会では、肝属教育事務所指導主事の豊留悦男先生を講師として招き、講演会を行いました。「女性の自立をめざした婦人活動」と題して、自分の体験に基づいた話を解りやすく話されました。これからの婦人会活動のあり方について大きな示唆をいただく講演でした。

町婦人会2月定例研修会



完走歩大会にむけて全員集合



お楽しみ完走歩大会抽選会

第7回 生きがい健康づくり大会

2月27日(日)生涯学習時代における生きがい健康づくりを考える第7回生きがい健康づくり大会が開催されました。朝の完走歩大会では、約二百名が汗を流しました。その後、大会が始まり、「中・高年のパワーで町に活気」と題して、ヨーガ教室講師和田信子さんによる講演が行われました。午後からは、お猿の大吉くん、大空 港さんによるアトラクションの後、シンポジウムが行われました。町内の4名の登壇者からすばらしい実践が発表されました。公民館講座等の作品展示もあり、生涯学習や健康について改めて考えることができた一日でした。



完走歩大会スタート!



食生活改善グループによるぜんざい



ゴールにむかって!

〈校内持久走大会〉
2月18日(金)、校内持久走大会を行いました。警察署のご協力で白バイパトカーの先導で、県下一周駅伝大会にも負けられないに手作りの応援で盛り上げました。走り終わった後、PTAの方々に作っていただいたぜんざいで体を温めました。



いよいよスタート!



すばらしい発表がなされたシンポジウム



各地区講座の作品もたくさん展示されました。



和田信子さんの熱のこもった講演



おいしいぜんざいをどうぞ



ゴールまであともう少し!ファイト!



手作りの 応援ばたで!



生涯学習(個人・団体)
花だんコンクール発表者



田代中学校駅伝大会選手
(特別功労賞)表彰者



かわいらしい表彰者
(歯の健康優良者・3歳・5歳児)と保護者

田代町教委
ALTリディアさん
柔道初段に見事合格

1月30日に鹿屋市武道館であった柔道の昇段試験に見事合格し、念願の黒帯を獲得しました。柔道部は、小学生から一般までの部員約20名が週2回、中央公民館で約2時間の練習に取り組んでいる。

リディアさんの得意技は大外刈り。「実践練習がいちばん楽しい」と柔道の魅力を話しました。リディアさんの今後のますますのご活躍をお祈りします。



練習に取り組む様子

平成12年
春の「心豊かな青少年を育てる運動」

☆運動の趣旨

春は卒業、入学、進学、就職など青少年には人生の節目となる貴重な体験をする大切な時期である。青少年の生活環境が変わり、問題行動が起こりやすいこの時期に、家庭、学校、地域社会及び各種団体が緊密な連携を図りながら、「心豊かな青少年を育てる運動」を積極的に展開することにより、次代の鹿児島を担うたくましい青少年を育成する。

☆テーマ

「育てよう思いやりのある子に 強い子に」

☆期間

平成12年3月11日から
4月10日





「花瀬公園まつり」が4月2日(日)に開催されます。
 今年は、「たしろ花瀬駅伝」も同時に開催し、スタート&ゴールが「花瀬の舞台前」に変更されて、より一層「花瀬」をPRしていきます。多くの町民の方々のご来場をお待ちしています。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

月の交通事故 相談日

4月25日(火)
 朝9時30分～
 昼3時30分

大根占町役場
 電話 2-0511

徳山
 永口
 ツ正
 ミ明
 様様

田代町社会福祉協議会
 「篤志寄附金」

臨時職員募集のお知らせ

職 種 介護保険訪問調査員
 採用人数 1名
 採用の条件 看護婦(士)・介護支援専門員・介護福祉士・社会福祉士等の資格を有する者。
 申込書類 市販の履歴書
 申込期限 平成12年3月24日(金)
 詳しくは、田代町役場介護保険係までお問い合わせください。電話5-2511 内線144

月日	当番医	TEL
3月12日	長浜医院	2-0137
3月19日	濱畑クリニック	5-2575
3月20日	二川内科胃腸科	2-2033
3月26日	肝属郡医師会立病院	2-3111
4月2日	津崎医院	4-2153
4月9日	黒木医院	6-0013

休日在宅当番医

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,727	3	1	3	4	△3
女	1,866	1	0	5	5	△9
計	3,593	4	1	8	9	△12
世帯数	1,454					△5

平成12年2月1日現在

人口のうごき

都会から遠く離れたいた御陰で豊かに残った自然を田代の女性の方々の「やさしさ・強さ・あたたかさ」で自然に親しむ方々や未来を担う子供達への手助けになるような活動に結びつけていけないか皆んなで語り合いませんか？
 手始めに、今、鹿児島県が全力で取り組んでおり、田代町の観光の一役を担うであろう「照葉樹の森」をあなた方のアイデアで彩ってみようかなと思っています。
 気軽な気持ちで、お問い合わせをさせていただきます。

企画係 中野まで
 (好)

編集途中下車 26
 自然とふれあいたい
 女性を募集します。